

# 調剤薬局企業初の 「グッド・デザインベスト100」受賞!

アイセイ薬局アイセイ薬局が編集／発行する『ヘルス・グラフィックマガジン』が、この度、公益財団法人日本デザイン振興会が主催するグッドデザイン賞において“2015年度グッドデザイン・ベスト100に選出されました。

『ヘルス・グラフィックマガジン』は、身近な疾患やその予防・対策をテーマとした、フリーぺーパーです。現在、アイセイ薬局の店舗にて、毎号15万部、年4回、薬剤師から患者さまに直接お渡ししています。『ヘルス・グラフィックマガジン』は単なる健康情報誌ではなく、大きな目的をもって発行されています。それは、患者さまの「ヘルスリテラシー」※の向上です。少子高齢化に伴い、日本の国民医療費は増大の一途を辿り、過去最高の40兆円を突破。2025年には54兆円に達すると推計されています。(参照:厚生労働省『社会保障に係る費用の将来推計の改定』平成24年3月発表)国民医療費を抑え、日本の優れた医療制度を維持するためには、国民のヘルスリテラシーを向上し、予防医療を推進する必要性があると考えています。アイセイ薬局では、2010年10月から、このヘルス・グラフィックマガジンを通じて、利用者のヘルスリテラシー向上に取り組んでいます。

※ ヘルスリテラシーとは…自分自身の健康について適切な意思決定を行うため、健康情報やサービスを調べたり、取捨選択が行える能力。

今年度のグッドデザイン賞の審査対象数は、3,658件。ヘルスグラフィックマガジンは、そのなかでも特にデザインに優れ、審査委員会の評価が高かった100件として、「グッドデザイン・ベスト100」に選ばれました。ヘルス・グラフィックマガジンは、お子さんから高齢者の方まで、どなたにも等しく理解できる正しい情報を提供できるよう、紙面には工夫を凝らしております。



GOOD DESIGN AWARD 2015  
**BEST 100**

## 審査員コメント



日常的に付き合っていかねばならない悩みの深い様々な症状について、ひとつの症状だけに特化して、写真・グラフィック・タイプографиなどグラフィックデザインの持てる力を総動員して「分かりやすく解説する」ことに取り組んでいることが好感が持てる。単に症状と解決法を病理学的に提示するのではなく、症状を気遣う愛情を感じさせる。グラフィックデザインが人に対して何ができるか、ということを改めて実感するデザインであり、グッドデザイン賞として高く評価した。

## 一目で興味を引く表紙を!

まずは「手にとってもらうこと」。特集内容が一目でわかるようインパクトのあるビジュアルに重点をおいています。



文字を読まなくても内容がわかるよう、ユニークなイラストを使用。

レシピページは自宅でも簡単に作れるようなものをチョイス。シズル感を最大限引き出せるように、料理の撮影方法を毎回模索しています。

この度第三者機関からの評価を受けたことを励みに、今後も皆さまの健康をサポートするため、充実した情報提供を行ってまいります。

## 今、求められている「医療と介護の連携」

東京都北区と連携した「介護予防イベント」を実施。地域のご高齢者の方々に健康や介護に対する関心を高めてもらうために、さまざまなコンテンツを用意しました。



国民の4人に1人が65歳以上という超高齢化社会に突入するなかで、急務と考えられているのが「介護」です。厚生労働省が2014年に発表した「地域における医療及び介護を総合的に確保するための基本的な方針」では『それぞれの地域に合わせた医療・介護サービスを提供すること。』、『医療及び介護の関係者が連携を密にして、利用者にとってわかりやすく、総合的な支援が行われる体制を確保すること。』が必要だと述べられており、アイセイ薬局は医療に携わる企業として、地域の皆さまが介護などにおいても相談しやすい拠点となるべく、さまざまな取り組みを行っております。

9月29日、東京都北区にある「東京都北区立 元気ぶらざ」にて、地域の65歳以上の高齢者を対象とした要支援・要介護啓発イベントを行いました。今回のイベントは、北区の地域包括支援センター「みずべの苑」と連携。「血圧」「足腰健康度」「認知症チェック」などの測定を通じて、参加者にご自身の健康や介護への関心を高めてもらうことを目的としています。当日は測定の他にも、「介護相談ブース」「お薬相談ブース」を設置。参加者それぞれが抱える不安に地域包括センターの職員や薬剤師が耳を傾け、介護保険の相談やお薬の服用についての相談にお応えしました。また、「健康栄養セミナー」を同時開催。今回のテーマは、「長生きするなら、食べるが一番」。参加者により関心をもってもらうため、東京都北区の行政目標として掲げられている「長生きするなら、北区が一番」という標語に合わせています。管理栄養士から「低栄養」の恐ろしさや、生活に取り入れられる簡単な予防方法が説明され、参加者の皆さんには深く頷いたり、メモを取ったりされました。



元気に!!  
長生きするなら、  
**「食べる」が一番!**

**低栄養予防のための食事のコツ**

- ① おかずをプラス 基本の考え方は定食
- ② 間食をプラス 足りないものを補う
- ③ 簡単にプラス 加工食品・保存食品の活用

**低栄養予防を行うことは  
=予防 = メタボ予防・改善**

**メタボは内臓の周りに「脂肪」が蓄積されている状態。  
低栄養の予防・改善に必要なのは「たんぱく質」なので、  
タンパク質をとる!**

## &lt;9月度開催実績&gt;

**日程** 9月29日(火) 13:30~16:30 北区立元気プラザ(東京都北区)  
**タイトル** 要支援・要介護啓発イベント(東京都北区との合同イベント)  
**参加人数** 97名 **主幹部門** 在宅推進室・事業支援部

**10月度開催予定**

<b>日程・場所</b>	10月31日(土) アイセイ薬局下呂店(岐阜県下呂市)
<b>タイトル</b>	アイセイ薬局 下呂店 介護予防イベント
<b>内容</b>	認知症チェック、足腰健康チェック、管理栄養士の栄養・食事相談、介護・お薬相談
<b>主幹部門</b>	名古屋支店

## 医療と介護の「壁」を取り除くための取り組み

介護関係者の方々が薬局に対して感じている距離感。その距離を縮め、多職種と連携して地域医療を推進していくために、アイセイ薬局では薬剤師が介護関係者向けの勉強会の講師を務めています。

医療と介護の連携の推進は、一筋縄ではいきません。高齢者の介護を行う在宅療養診療所や訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所が抱える悩みのひとつが、薬や薬局についての情報不足です。「薬局が在宅医療においてどのような内容を提供できるのか情報がない」「在宅医療に対応できる薬局がどこにあるかわからない」といった声が挙げられています。

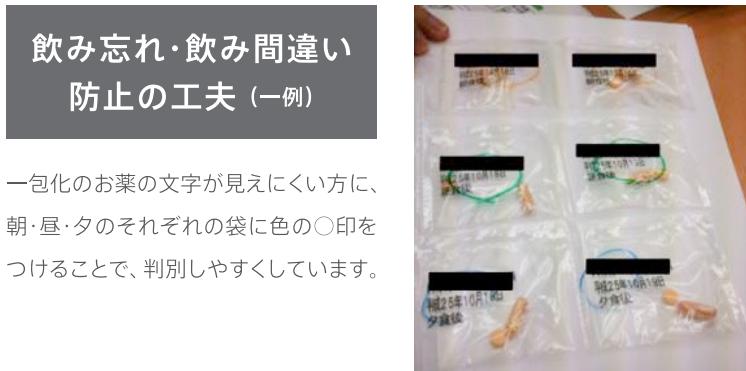
(平成27年3月 みずほ情報総研株式会社 地域包括ケアシステムにおける薬局・薬剤師による薬学的管理、及び在宅服薬支援の向上及び効率化のための調査研究より)

このような悩みを解消するため、アイセイ薬局では店舗においても介護に積極的に介入するべく、さまざまな取り組みを行っています。東京都大田区にあるアイセイ薬局大森町店の店長は、地域の民生委員の皆さんを対象とした勉強会の講師として「調剤薬局で何ができるのか」をお話しました。飲み間違いの多い患者さまのお薬は、1回分ずつ包装する「一包化」にする、自宅に残ってしまった薬の整理、外出が難しい方については薬をご自宅までお届けする、一般用医薬品の情報提供、患者さまの症状に併せた生活指導…など、調剤薬局ができる具体的な取り組みをお伝えしました。



### 飲み忘れ・飲み間違い 防止の工夫(一例)

一包化のお薬の文字が見えにくい方に、朝・昼・夕のそれぞれの袋に色の○印をつけることで、判別しやすくなっています。



# 薬局で、「介護相談」できます。

薬局においては、介護相談窓口を設けたり、高齢者のサポートをするさまざまなツールの配布などを行っています。

大森町店では、日ごろから店舗においても介護のサポートに力をいれています。店舗の一画に、地域包括支援センターと提携した「介護相談窓口」を設置。大田区がご高齢の方や独居の方の不安を減らすために実施している「安心ノート」「高齢者見守りキーホルダー」といったツールをお渡ししたり、状況に応じて、介護保険で利用できる福祉器具や、地域包括支援センターを紹介しています。

厚生労働省が健康サポート薬局のありかたについてまとめたレポートでは、調剤薬局はかかりつけ医をはじめ、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所などの地域包括ケアの一翼を担う多職種と連携体制を構築していくことが求められています。

(参照:厚生労働省「健康サポート薬局のあり方について」平成27年9月)

アイセイ薬局グループでは、地域の皆さまの健康をサポートできるよう、それぞれの地域に合わせた取り組みを実施してまいります。



アイセイ薬局で介護相談ができますことを啓発するためにA5サイズのリーフレットを作成し全国の店舗で配布しています。

## 10月度開催予定

日程・場所	10月17日(土) 15時～16時 KKRホテルびわこ別館(滋賀県大津市)
タイトル	アイセイ薬局 唐崎店からだゼミナール
内容	専門医に学ぶ 健康寿命を延ばす腰痛の予防法について
主幹部門	関西支店
日程・場所	10月31日(土) 15時～16時 磐山医院(山梨県笛吹市)
タイトル	アイセイ薬局 笛吹店 からだゼミナール
内容	糖尿病について ~日常生活で気をつけたいこと~
主幹部門	北関東・甲信越支店

新規開設	オープン日	店舗・施設名	所在地
	9月1日	アイセイ薬局 南濃店	岐阜県海津市南濃町松山195-1
	10月1日	アイセイ薬局 富久店	東京都新宿区富久町17-2
	10月1日	アイセイ薬局 都島店	大阪府大阪市都島区友渕町2-15-7 M.Y.Sビル1階

アイセイ薬局グループの施策に関するご質問や取材のご依頼は、下記ご連絡先にて承っております。

### 【お問い合わせ先】

株式会社アイセイ薬局 マーケティング本部  
コーポレート・コミュニケーション部 担当:岩崎(いわざき)

〒100-0005

東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビルディング  
TEL: 03-3240-0250 E-mail: t-iwazaki@aisei.co.jp